

「スタディーサポート」活用法



1 模擬試験の重要性

模擬試験(模試)は全国的に見て自分がどれぐらいのレベルにいるかを知り、目標とする進路先を絞り込む、そして目標までの学力差を測り具体的に学習に向かうためのツールです。城北高校の生徒のほとんどが進学を希望していますが、大学入試には全国各地から受験生が集まってきます。つまり、校内の順位だけでは、自分がどんな大学に進学できるのかをデータとして知ることはできないのです。全国レベルでの自分の学力を知り、試験後に模試を復習することで目標の大学に近づく学力を身に付ける、これが何より大事になってきます。ただ得点のみを見て一喜一憂するのでは意味がありません。模試を有効に活用できるか否かで、学習の成果は大きく変わってきます。今回は模擬試験ではありませんが、新年度4月10日(金)に実施されるスタディーサポートの活用法について説明します。

2 スタディーサポートとは？

「スタディーサポート」の受験によって全国的な視点における現在の学力や各教科における細かい弱点分析などが分かります。また、リサーチ結果から見た生活面での自分の傾向や今後見直すべきポイントなども知ることができます。1年生はこれを手がかりにして高校生としての学習習慣を身に付け、今後の高校での学習内容をより理解し深めるために活用してください。2・3年生は、模試や入試に向けて、学力や学習習慣の振り返りに活用してください。

〜〜スタディーサポートの流れ〜〜



STEP:1 「スタディーサポート活用 Book」

春休みの課題として配布した「スタディーサポート活用 Book」は英・数・国の問題のほか、受験前から受験後の活用方法が載っています。特にGTZ(学習到達ゾーン)が表すものについて理解しておきましょう。

STEP:2 「スタディーサポート受験」

教科は英・数・国です。解答をもらったらその日のうちに答え合わせをして復習しましょう。どんな試験も間違いを直すことが一番大事です！

STEP:3 「個人診断レポート」返却

後日、学力・学習習慣の診断結果と、弱点補強のためのワークとドリルが1冊になって返ってきます。学力の分析結果とアドバイスを読んで、今後どうすればよいかを考えましょう。

< 振り返りのステップ >

1. 個人診断レポートの診断結果を読み、学力のバランス・弱点分野・改善すべき学習習慣を確認する。
2. 個人診断レポートのワークとドリルに取り組み、弱点分野を復習する。
3. 個人診断レポートのアドバイス、「スタディーサポート活用 Book」・「スタディーサポート Planning Book」をもとに、今後の学習の目標を考える。

今年度の校内一斉テストの予定が裏面にあるので、確認しておきましょう。